

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	多摩区第2グループ(錦ヶ丘・三田)	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日	所管課	子ども未来局 青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	H27		H28		H27		H28	
	1 錦ヶ丘子ども文化センター ①年間延べ利用者数	19,299人	20,959人	②年間延べ利用団体数	353団体	354団体		
2 南生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	453人	478人	②年間延べ利用者数	23,828人	27,094人			
3 生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	231人	234人	②年間延べ利用者数	12,248人	13,433人			
1 三田子ども文化センター ①年間延べ利用者数	37,831人	32,838人	②年間延べ利用団体数	490団体	477団体			
2 三田小学校わくわくプラザ ①登録者数	315人	309人	②年間延べ利用者数	17,837人	18,881人			
収支実績	単位:円							
1 収入								
指定管理料	90,544,641							
2 支出								
人件費	73,672,905							
管理費	6,959,060							
事務経費	4,228,949							
その他経費	5,492,695							
合計	90,353,609							
3 差引	191,032							
サービス向上の取組	運営協議会、保護者懇談会、子ども運営会議、日常的な利用者とのコミュニケーション等により、利用者ニーズを把握し、館の活動や運営に反映した。また、事業者のスケールメリットを活かした全館行事、区行事やグループ行事など、地域を越えた児童の健全育成、交流の場づくりを実施した。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進及び事業成果	「仕様書」を遵守して適切な事業の実施がなされているか。	10	4	8
		「事業計画」に基づき、着実な事業の推進がなされているか。			
		「子ども文化センター」の運営をすることにより、児童の健全な育成が図られているか。			
		「わくわくプラザ事業」を実施することにより、放課後児童の健全な育成が図られているか。			
(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書及び事業計画書に基づき、子ども文化センター及びわくわくプラザ事業を適正に実施した。</li> <li>特に、両子ども文化センター・わくわくプラザともに、中高校生のボランティアや職業体験の受け入れを積極的に行っており、これらボランティア等がきっかけとなって、以後、子ども文化センターを利用するようになるなど、中高生の利用増につながっている。</li> <li>錦ヶ丘子ども文化センターにおいては、老人いこいの家との合築施設であること、地域子育て支援センターがあることから、多世代交流が積極的に行われており、いこいの家と連携して囲碁教室を実施し、そこから発展して、南生田小わくわくプラザでの月2回の囲碁教室開催に繋がるなど、多世代交流に広がりが見られた。</li> <li>三田子ども文化センターにおいては、近隣に明治大、専修大があることから、大学との連携事業が盛んであり、明治大ボランティアセンターと連携して「科学実験教室」を実施したり、同大「楽農4Hサークル」と連携して「みたっこコントロール隊(1回目;まち探検、2回目;明治大探検)」を実施したり、今年度は新たに専修大ネットワーク情報学部と連携して感情認識ロボットの講座「ペッパーくんがやってくる」を実施するなど、子どもと斜め上の大人とのつながりを子ども文化センターが担っている。</li> <li>こうした取組により、両子ども文化センターの中高生の利用者数は、前年度から約1,800人(1.3倍)増加した。</li> </ul>				

サービス向上及び業務改善	利用者ニーズ	サービス向上のために、利用者等の意見を適切に把握しているか。	10	4	8
		利用ニーズを把握し、事業実施に適切に反映しているか。			
		苦情対応など、利用者への適切な対応が図られているか。			
	特別な配慮を要する利用者への対応	特別な配慮を要する利用者への対応が適切になされているか。	5	4	4
	学校及び行政機関との連携	事業の実施にあたり、学校及び行政機関、地域の団体等との連携がなされているか。	10	4	8
	施設・事業の広報	施設を知ってもらい、事業の充実を図るための周知の活動等に取り組んでいるか。	5	3	3
	運営協議会の実施	「こども文化センター運営協議会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
	保護者懇談会の実施	「わくわくプラザ保護者懇談会」が適切に運営・開催されているか。	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズについては、事業実施後のアンケートや館内設置の意見箱、運営協議会や子ども運営会議、保護者懇談会等を通じて適宜把握しており、錦ヶ丘こども文化センターにおいて、今年度新たに「おもちゃランド」や「卓球大会」を開催するなど、可能なものから順次対応している。</li> <li>特別な配慮を要する利用者への対応については、三田こども文化センターにおいて、障害児タイムケア事業を実施していることから、委託業者と連携した対応をしており、三田小わくわくプラザにおいて、学校担任、養護教諭、保護者との情報交換を積極的に行っている。</li> <li>学校及び行政機関との連携については、多摩第2Gは明治大、専修大等が近隣にあることから、大学との連携が特に盛んで、三田こども文化センターでは、今年度新たに専修大ネットワーク情報学部と連携してロボット講座「ベッパークンがやってくる」を実施したり、錦ヶ丘こども文化センターでは、「ふれあい読み聞かせ」をきっかけに、新たに百合丘高との連携関係を築くことができる等、各こども文化センターを核に、地域がつながっている状況が生まれている。</li> </ul>					
組織管理体制	適正な人員配置	「児童福祉施設の設置及び運営の基準に関する条例」第54条に基づく職員配置がなされているか。	10	3	6
		「仕様書」において定める職員配置の最低基準が順守されているか。			
		「川崎市公契約条例」が遵守されているか。			
	職員の研修体制	職員の資質向上のために必要な研修が実施されているか。	10	3	6
		職員が研修に参加しやすい仕組みづくりがなされているか。			
個人情報等の取扱	法人として、個人情報保護に関する規定や体制を整備しており、適正に取り組んでいるか。	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な人員配置については、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、仕様書・事業計画に基づき、適正な配置がされている。特別な配慮を要する利用者についても、状況に応じた人員配置ができています。</li> <li>研修体制については、運営法人の10年以上にわたる青少年分野における人材育成のノウハウを活かし、全市・グループ・館ごと、または、職位ごと、分野ごとの研修など、体系的・計画的な研修が行われていた。</li> <li>個人情報の取扱については、法人において定めている、個人情報保護方針及び取扱規定に基づいて、個人情報等は鍵のかかる保管庫に保管されている。また個人情報の漏洩の事実はなかった。</li> </ul>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な施設利用のため、施設や設備の保守・点検を適切に行っているか。	5	3	3
		必要に応じて適切な維持・補修がなされているか。			
		備品等の管理が適切になされているか。			
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保するための体制が整っているか。	5	3	3
		事故等が発生した場合に迅速かつ適切な対応が図られているか。			
		事故防止や感染症予防対策等が事前に図られているか。			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯対策に工夫がなされているか。	5	3	3
		災害発生時に備えた対応が図られているか。			
災害発生時に適切な対応・行動ができる取組がなされているか。					
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設・設備の保守管理については、こども文化センター・わくわくプラザ共に、施設・設備の保守点検を日常的に行い、補修が必要な場合は適宜、工事等実施している。</li> <li>利用者の安全確保については、グループ全職員に普通救命講習の受講を義務付け、有事に備えるとともに、財団作成の各種マニュアルに沿って、事故対応や衛生管理等を適切に行っている。</li> <li>防犯対策及び災害時の対応として、法人作成の「不審者対応マニュアル」や、館ごとに作成している「災害時対応マニュアル」に基づき、災害備蓄品の常備や消防訓練、避難訓練の実施等、防災体制の強化に取り組んでいる。</li> </ul>					

収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	法人の規定等に沿った適切な会計処理と金銭管理がなされているか。	5	3	3
	効率的・効果的な支出	「事業計画」に沿った適切な支出がなされているか。	5	3	3
		効率的な執行に努め、経費削減に具体的に取り組んでいるか。			
		支出に見合う効果が効果が得られており、サービス水準も確保されているか。			
(評価の理由) ・金銭管理・会計手続については、適正に行われている。 ・受託20グループ52施設を管理している運営法人のスケールメリットを活かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品や備品の一括購入等の取組により、効率的・効果的な経費の支出がなされている。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

こども文化センター及びわくわくプラザの管理運営を長年に渡り行ってきた経験を活かし、安定した施設運営を実施している。  
 また、各種イベントを実施する際には、子ども運営会議の委員が自ら企画・運営できるようなサポート体制を取っており、こども文化センターの目的である、青少年の健全育成・社会参加に大きく貢献していると言える。  
 さらに、学校や行政、地域の各団体等と連携した事業展開を積極的に行っており、特に、近隣に大学が2つあることから、大学との連携による魅力ある事業の実施や、中学生・高校生のボランティアや職業体験の受入等、近年、喫緊の課題となっている中高生の居場所づくりに積極的に取り組んでいること、老人いこいの家と連携した事業実施により、多世代交流が盛んであること等、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所の一つとしての役割を十分担っていると言える。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後も、地域社会全体で子どもを見守り育てる、安全・安心な居場所となるよう、環境整備や職員のスキル向上に努め、職員と子どもが顔の見える関係を築き、中高生を含めた様々な年代の子どもたちにとって、居心地のよい場となるよう努めてもらいたい。